

楽曲ミニ知識

グローリア (Gloria) ニ長調 RV.589

「グローリア ニ長調 RV589」は12曲で構成されている。協奏曲の確立者ヴィヴァルディは、協奏曲を総奏 tutti と独奏 solo との組み合わせを巧みに用いて構成している。それによってバロック特有のテラス状、つまり凸部=力感あふれる総奏 tutti と凹部=清楚で華麗な独奏 solo や独奏部 soli の反復によって、強弱や表情のコントラストを作っている。それは強弱や速度の急緩、編成の変化などで巧みにメリハリの効いた構造を構成している。声楽曲「グローリア ニ長調 RV589」では器楽合奏を伴うものの、独奏 solo は独唱や重唱、総奏 tutti は合唱という形をとるのである。楽曲編成はソプラノ2とアルト1の独唱群と4部の混声合唱、器楽合奏はトランペット1、オーボエ1、弦楽部=ヴァイオリン2部、ヴィオラ1部、通奏低音部となっている。



Gloria

RV 589

I. Gloria in excelsis Deo

Antonio Vivaldi

BA 7674 © 2011 by Bärenreiter-Verlag, Kassel

アントニオ・ルーチョ・ヴィヴァルディ (Antonio Lucio Vivaldi)

(1678年3月4日 - 1741年7月28日) ヴェネツィア出身のバロック後期の作曲家、ヴァイオリニスト。カトリック教会の司祭。



経歴

イタリアのヴェネツィアに生まれ、オーストリアのウィーンで没した。サン・マルコ大聖堂付きオーケストラの一員であった、理髪師でヴァイオリニストの父親からヴァイオリンを学ぶ。10歳より教会附属の学校に入り、25歳で司祭に叙階される。赤毛であったことから「赤毛の司祭」Il Prete Rosso (イル・プレーテ・ロッシ) と呼ばれるようになった。

司祭になった年にヴェネツィアのピエタ慈善院付属音楽院 (Ospedale della Pietà) でヴァイオリンを教えはじめ、1年後にはヴィオラ・アツィングレーゼ (Viola all'inglese: 仏語版、Lyra viol: 英語版) も教えはじめる。後に宮廷の「楽長」にあたるフルタイムの「合奏長」ではなく、パートタイムの「協奏曲長」として多くの器楽曲また時には宗教曲までピエタに提供し、リハーサルする義務を負った。一方、オペラ作曲家としての名声もしいにゆるぎないものになり、ヴァイオリンの無類のヴィルトゥオーソとしての演奏旅行のほか、オペラ上演のためにヨーロッパ各地を回った。彼の残した作品は死後長らく忘れられた存在であったが、20世紀に入り多くの作品が再発見され、再評価されることになった。

作品は、四季などの500を超える協奏曲、52の現存するオペラ (ヴィヴァルディ自身は94のオペラを作ったと書簡に記している)、73のソナタ、室内楽曲、シンフォニア、オラトリオ (現在自筆譜が残っているのは勝利のユディータのみ)、宗教音楽 (モテットなど)、カンタータ、など多岐に渡る。「写譜屋が写譜を行っている間に、協奏曲の全パートを作曲できる」と豪語していた彼は速筆の多作家であり、その荒れた筆跡は残された自筆譜で確認できる。

通常RV番号 (リオム番号) で楽曲が整理されるが、この他にパンシエル番号 (P番号)、ファンナ番号 (F番号) が存在する。ジャンルには偏りが多く、ヴァイオリンのための協奏曲はおびただしく残っているものの、チェンバロのための協奏曲は編曲譜が一曲しか残っていない。

(Wikipedia)

曲構成

Gloria ニ長調 RV.589 アントニオ・ヴィヴァルディ

Gloria	グロリア=栄光の賛歌
第1曲 合唱 アレグロ 4/4拍子 ニ長調	
Gloria in excelsis Deo,	天におられる神に栄光。
第2曲 合唱 アンダンテ 3/4拍子 口短調	
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.	み心にかなう地上の人々に平和。
第3曲 ソプラノ二重唱 モデラート 2/4拍子 ト長調	
Laudamus te, benedicimus te, adoramus te, glorificamus te,	われらはあなたをほめたたえ、 あなたを拝み、あがめます。
第4曲 合唱 アダージオ 4/4拍子 ホ短調	
Gratias agimus tibi	あなたに感謝します。
第5曲 合唱 アレグロ 4/2拍子 ホ短調	
Propter magnam gloriam tuam.	それはあなたの偉大な栄光のゆえです。
第6曲 ソプラノ独唱 ラールゴ 12/8拍子 ハ長調	
Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.	神である主、天の王、 全能の父である神よ。
第7曲 合唱 アレグロ 3/4拍子 ヘ長調	
Domine Fili unigenite, Iesu Christe.	ひとり子、主イエス・キリストよ。
第8曲 アルト独唱と合唱 アダージオ 4/4拍子 ニ短調	
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris, <i>qui tollis peccata,</i> <i>Domine fili unigenite, qui tollis peccata,</i> <i>Domine Deus, Rex coelestis,</i> qui tollis peccata mundi, miserere nobis.	神である主、神の子羊、父のみ子よ、 <i>罪を除かれる主よ、</i> ★斜字箇所は第6、7曲歌詞から補充 <i>罪を除かれるひとり子よ、</i> <i>神である主よ、天の王よ、</i> 世の罪を除かれる主よ、われらをあわれみください。
第9曲 合唱 アダージオ 4/4拍子 イ短調	
Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.	世の罪を除かれる主よ、 われらの願いを聞き入れてください。
第10曲 アルト独唱 アレグロ 3/8拍子 口短調	
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.	父の右に座す主よ、われらをあわれみください。
第11曲 合唱 アレグロ 3/8拍子 ニ長調	
Quoniam tu solus Sanctus, tu solus Dominus, tu solus Altissimus, Iesu Christe,	あなたのみが聖なる方、王です。 あなたのみがいと高き方、イエス・キリストよ。
第12曲 合唱 アレグロ 4/2拍子 ニ長調	
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris. Amen.	あなたは聖霊とともに、父の神の栄光のうちにおられます。 アーメン。